

平成24年度事業報告書

第1 事業の状況

1 奨学金等給与事業

(1) 学用品費（月額）の給与

ア 小学校又は特別支援学校小学部に在学する奨学生（月額10,000円）

奨学生数	継 続	68 人
	新 規	13 人
	計	81 人

イ 中学校又は特別支援学校中学部に在学する奨学生（月額12,000円）

奨学生数	継 続	74 人
	新 規	6 人
	計	80 人

(2) 奨学金（月額）の給与

ア 高等学校、高等専門学校3年以下の学年、専修学校高等課程又は特別支援学校高等部に在学する奨学生

奨学生数	継 続	85 人
	新 規	8 人
	計	93 人
国・公立別	国・公立	(月額17,000円) 64 人
	私 立	(月額25,000円) 29 人
	計	93 人

イ 大学、高等専門学校4年以上の学年又は専修学校専門課程に在学する奨学生

奨 学 生 数	継 続	79 人
	新 規	5 人
	計	84 人
国 立 公 立 別 私 立	国 ・ 公 立	(月額25,000円) 10 人
	私 立	(月額30,000円) 74 人
	計	84 人

総括表

区分	小学生	中学生	高校生	大学生	計
継 続 (前年度)	68 (82)	74 (72)	85 (96)	79 (68)	306 (318)
新 規 (前年度)	13 (9)	6 (4)	8 (10)	5 (2)	32 (25)
計 (前年度)	81 (91)	80 (76)	93 (106)	84 (70)	338 (343)

(3) 一時金の給与

ア 小学校又は特別支援学校小学部に入学した奨学生 (70,000円)

奨 学 生 数	継 続	— 人
	新 規	5 人
	計	5 人

イ 中学校又は特別支援学校中学部に入学した奨学生（30,000円）

奨 学 生 数	継 続	22 人
	新 規	2 人
	計	24 人

ウ 高等学校、高等専門学校、専修学校高等課程又は特別支援学校高等部に入学した奨学生（30,000円）

奨 学 生 数	継 続	22 人
	新 規	3 人
	計	25 人

エ 大学又は専修学校専門課程に入学した奨学生（70,000円）

奨 学 生 数	継 続	30 人
	新 規	1 人
	計	31 人

総括表

区分	小学生	中学生	高校生	大学生	計
継 続 (前年度)	— (-)	22 (22)	22 (22)	30 (21)	74 (65)
新 規 (前年度)	5 (8)	2 (2)	3 (1)	1 (1)	11 (12)
計 (前年度)	5 (8)	24 (24)	25 (23)	31 (22)	85 (77)

(4) 奨学金等の給与月数及び期間

奨学生 期間		学用品費		奨学金		合計 (人)
		小学生	中学生	高校生	大学生	
継続奨学生	12ヶ月 (H24.4~H25.3)	68	74	84	77	303
	11ヶ月 (H24.4~H25.2)			1		1
	6ヶ月 (H24.4~H24.9)				2	2
	計	68	74	85	79	306
新規奨学生	12ヶ月 (H24.4~H25.3)	10	6	5	4	25
	10ヶ月 (H24.6~H25.3)	1		1		2
	9ヶ月 (H24.7~H25.3)	1		2	1	4
	7ヶ月 (H24.9~H25.3)	1				1
	計	13	6	8	5	32
合計		81	80	93	84	338

(5) 奨学生の計画人数と実人数の対比

区分		小学生	中学生	高校生	大学生	計(人)
計画人員	継続	70	76	85	78	309
	新規	16	5	3	3	27
	計	86	81	88	81	336
実人員	継続	68	74	85	79	306
	新規	13	6	8	5	32
	計	81	80	93	84	338
増減	継続	△2	△2	0	1	△3
	新規	△3	1	5	2	5
	計	△5	△1	5	3	2

(6) 奨学金等の給与状況

単位：千円

態様別 給与年月日	学用品費				奨学金				合計	
	小学生		中学生		高校生		大学生		人数	給与額
	人数	給与額	人数	給与額	人数	給与額	人数	給与額		
平成24. 6. 28 4～6月分 一時金	67	2,010	73	2,628	84	4,812	79	6,975	303	16,425
			22	660	22	660	30	2,100	74	3,420
平成24. 7. 30 7月採用分 一時金	8	240	1	36	2	126	2	180	13	582
	5	350	1	30	2	60	1	70	9	510
平成24. 9. 27 7～9月分 一時金	76	2,310	75	2,736	87	5,088	81	7,155	319	17,289
平成24. 12. 21 10～12月分 一時金	76	2,280	75	2,700	87	5,013	80	7,065	318	17,058
平成24. 12. 26 12月採用分 一時金	1	60	1	108	3	528	2	405	5	1,101
平成25. 2. 7 10～12月分 一時金							1	△ 90	1	△ 90
平成25. 3. 27 1～3月分 一時金	77	2,310	76	2,736	90	5,221	81	7,140	324	17,407
平成25. 3. 28 3月採用分 一時金	4	410	4	576	3	703	1	360	12	2,049
			1	30	1	30			2	60
奨学金・学用品費計	81	9,620	80	11,520	93	21,491	84	29,190	338	71,821
一時金計	5	350	24	720	25	750	31	2,170	85	3,990
奨学金等合計	81	9,970	80	12,240	93	22,241	84	31,360	338	75,811

注 △は退学に伴う返金

学用品費合計	161人	22,210千円	内一時金	1,070千円
小学生	81人	(新規採用13人)		
中学生	80人	(新規採用6人)		
奨学金合計	177人	53,601千円	内一時金	2,920千円
高校生	93人	(新規採用8人、途中退学1人)		
大学生	84人	(新規採用5人、途中退学1人、途中休学1人)		
給与総額	338人	75,811千円	内一時金	3,990千円

(7) 学生別・学年別 奨学金等給与状況

単位：千円

学校学年	人 数		学用品費		
			月額給与	一時金	合計
小学生	1	6	700	350	1,050
	2	10	1,150		1,150
	3	12	1,440		1,440
	4	17	2,040		2,040
	5	20	2,370		2,370
	6	16	1,920		1,920
	計	81	9,620	350	9,970
中学生	1	24	3,456	720	4,176
	2	24	3,456		3,456
	3	32	4,608		4,608
	計	80	11,520	720	12,240

学校学年	人 数		奨学金				
			月額給与	一時金	合計		
高校生	1	25	国公立	14	3,009	450	6,842
			私立	11	3,083	300	
	2	25	国公立	18	3,672		5,772
			私立	7	2,100		
	3	42	国公立	31	6,273		9,423
			私立	11	3,150		
	4	1	国公立	1	204		204
			私立				
	計	93	国公立	64	13,158	450	22,241
			私立	29	8,333	300	
大学生	1	31	国公立	1	300	70	12,910
			私立	30	10,440	2,100	
	2	22	国公立	2	600		7,980
			私立	20	7,380		
	3	15	国公立	4	1,200		4,890
			私立	11	3,690		
	4	14	国公立	3	900		4,860
			私立	11	3,960		
	5		国公立				
			私立				
6	2	国公立				720	
		私立	2	720			
計	84	国公立	10	3,000	70	31,360	
		私立	74	26,190	2,100		

総計	人員		学用品費	奨学金	総合計
	(内 一時金)	338	75	22,210	53,601
			1,070	2,920	3,990

(8) 都道府県別 奨学金等給与状況

単位：千円

都道府県名	学生別	学用品費				奨学金				合計	
		小学生		中学生		高校生		大学生		人数	給与額
		人数	給与額	人数	給与額	人数	給与額	人数	給与額		
北海道		2	240	3	492	1	204	1	430	7	1,366
東 北	青森			2	318	3	612			5	930
	岩手			1	144	1	330			2	474
	宮城	1	120	1	174					2	294
	秋田			2	288	2	470			4	758
	山形			1	144	1	204	1	360	3	708
	福島					2	438			2	438
東京都		6	700	6	864	11	2,638	9	3,340	32	7,542
関 東	茨城			2	318	2	438	1	430	5	1,186
	栃木	3	360	3	462	3	834	4	1,520	13	3,176
	群馬	1	120	1	144					2	264
	埼玉			2	288	2	504	2	660	6	1,452
	千葉	2	240	1	174	4	1,008	2	790	9	2,212
	神奈川	8	1,000	3	492	7	1,893	5	1,600	23	4,985
東 部	新潟	4	480	1	144			5	1,890	10	2,514
	山梨							1	430	1	430
	長野					2	504			2	504
	静岡	4	480	3	492	5	1,302	1	360	13	2,634
	富山	2	240	1	144	1	204	1	300	5	888
	石川	3	430	1	144					4	574
中 部	福井	1	120							1	120
	岐阜			1	144	1	204			2	348
	愛知	6	860	5	750	4	861	1	430	16	2,901
	三重										
	滋賀										
	京都	7	790			2	408			9	1,198
畿 近	大阪	8	960	9	1,386	3	713	12	4,670	32	7,729
	兵庫	4	480	3	462	3	642	9	3,190	19	4,774
	奈良					1	300	1	300	2	600
	和歌山	2	240	1	144	1	300			4	684
中 国	鳥取										
	島根			1	174	1	204			2	378
	岡山	1	120	1	144	4	1,068	2	790	8	2,122
	広島	1	120	1	144	4	1,038	2	790	8	2,092
四 国	山口							2	660	2	660
	徳島	1	120	1	144	2	408	1	360	5	1,032
	香川			1	174					1	174
	愛媛			3	492	3	798	1	430	7	1,720
九 州	高知							2	720	2	720
	福岡	4	480	6	864	5	1,116	6	2,300	21	4,760
	佐賀							2	790	2	790
	長崎	1	120					1	370	2	490
	熊本	5	670							5	670
	大分			4	606			1	430	5	1,036
	宮崎	2	240	3	492	3	672	2	720	10	2,124
鹿児島			3	432	4	846	2	720	9	1,998	
沖縄	2	240	3	462	5	1,080	4	1,580	14	3,362	
合計		81	9,970	80	12,240	93	22,241	84	31,360	338	75,811

2 生活指導相談事業

(1) 「ふれあい」の発行

財団法人日本宝くじ協会からの助成を得て発行した。

発行年月日	誌名・発行番号	発行部数	備考
平成24年4月1日	ふれあい春季号 No118	6,200	※ 奨学生家庭、同OB家庭、評議員、役員、全国警察機関、都道府県知事、各種協力団体等に配布し、基金事業に対する理解と社会連帯共助の精神的基盤の確立を図った。
平成24年7月1日	ふれあい夏季号 No119	6,200	
平成24年10月1日	ふれあい秋季号 No120	6,200	
平成25年1月1日	ふれあい新年号 No121	6,200	
計	4回	24,800	

(2) 事務局ノートの発行

発行年月日	発行番号	発行部数	備考
平成24年6月1日	No 108	350	※ 事務処理の迅速化適正化を図るため、奨学生家庭、都道府県警察本部犯罪被害給付事務担当課等に配布した。
平成25年2月1日	No 109	350	
計	2回	700	

(3) ふれあい相談活動

奨学生、保護者、犯罪被害者等からの悩み事相談に対応するとともに、近況報告等でいただいた意見、希望、要望等を基金事業の推進・改善等の参考とした。

3 奨学生等調査事業

被害遺児等の実態調査

対象家庭	家庭数	備考
殺人等凶悪事件被害家庭	27	※ 警察庁はじめ都道府県警察の協力を得て殺人等凶悪事件について被害実態を調査し、平成24年度中に36人の奨学生応募者を確認し、32人を選考採用した。

4 支援金支給事業

警察庁、都道府県警察、犯罪被害者支援団体等の協力を得て実施した。

対象者	申請者数	支給者数	備考
犯罪被害者等で現に著しく困窮している人	1人	1人	DV事件で申請の遅れから犯給法による救済を受けないまま被害者の子どもを育てていた被害者の妹に支給した。

5 助成事業

(1) 「全国犯罪被害者支援フォーラム2012」の開催

NPO法人全国被害者支援ネットワーク、日本被害者学会、警察庁等と共催で標記フォーラムを開催して、経費の一部を助成した。

(2) 「犯罪被害者週間全国大会2012～いのち・きぼう・未来」の協賛

犯罪被害者団体ネットワーク主催の標記大会の協賛として経費の一部を助成した。

6 広報・啓発事業

(1) 小冊子の作成・頒布

頒布年月日	資料名	作成数	備考
平成24年8月31日	犯罪被害救援基金の概要	20,000部	※ 基金事業を広く一般に周知せしめ、いわゆる潜在遺児の絶無を期するため、警察関係機関等関係向きに頒布した。

(2) ポスター及びリーフレットの作成・頒布

頒布年月日	資料名	作成数	備考
平成24年10月15日	犯罪にあわれた被害者の遺児たちに幸せを	ポスター 18,700枚 リーフレット 404,500枚	※ 社会安全研究財団の助成を得て作成し、警察関係機関、都道府県市区町村、マスコミ等に頒布し、犯罪被害者等に対する理解と支援をお願いした。

7 事務所の移転

事務所を平成24年10月に平河町共済ビルの6階から1階に移転し、職場環境の整備と事務の効率化を図った。

8 その他

年 月 日	実施事項	氏 名	備 考
平成24年7月11日	感謝状の贈呈	(株)ギャンビット社長 久保忠佳様	多額の寄付
平成25年3月23日	感謝状の贈呈	大石太智様	多額の寄付

第2 庶務の概要

1 評議員、役員等に関する事項

(1) 評議員 任期4年 現在数11人(定数7人以上13人以下)

平成25年3月31日現在

役職	氏名	任期	常勤・非常勤の別	職名(現在の本務)
評議員	武藤 誠	23.04.01~27.06	非常勤	著述業
〃	大谷 實	23.04.01~27.06	〃	学校法人同志社総長
〃	安藤 實親	23.04.01~27.06	〃	作曲家
〃	縄田 修	23.11.23~27.06	〃	警察職員生活協同組合理事長
〃	岩武 俊廣	23.04.01~27.06	〃	日本自動車工業会理事
〃	勝見 亮助	23.04.01~27.06	〃	日本雑誌協会専務理事
〃	松本 治男	24.10.24~27.06	〃	全国防犯協会連合会専務理事
〃	上原美都男	24.10.24~27.06	〃	全国警備業協会専務理事
〃	鳥居 元吉	23.04.01~27.06	〃	日本新聞協会専務理事
〃	甲斐中辰夫	23.04.01~27.06	〃	弁護士 卓照綜合法律事務所
〃	坂東真理子	23.06.29~27.06	〃	昭和女子大学学長

(2) 役員

理事 任期2年 現在数8人（定数6人以上9人以下）

監事 任期2年 現在数2人（定数2人又は3人）

平成25年3月31日現在

役職	氏名	任期	常勤・非常勤の別	職名(現在の本務)
理事長	張 富士夫	23.04.01～25.06	非常勤	トヨタ自動車株式会社 代表取締役会長
理事長 代行	國松 孝次	23.04.01～25.06	〃	認定NPO法人救急へり 病院ネットワーク会長
専務 理事	黒澤 正和	23.04.01～25.06	常勤	
理事	渥美 東洋	23.04.01～25.06	非常勤	中央大学名誉教授
〃	田宮 榮一	23.04.01～25.06	〃	警察研修社取締役会長
〃	木村 治美	23.04.01～25.06	〃	共立女子大学名誉教授
〃	細井 洋子	23.04.01～25.06	〃	東洋大学社会学部教授
〃	山上 皓	23.04.01～25.06	〃	東京医科歯科大学名誉 教授
監事	大森 政輔	23.04.01～25.06	〃	弁護士 八重洲法律事 務所
〃	吉村 博人	23.04.01～25.06	〃	警察共済組合理事長

2 会議に関する事項

(1) 評議員会

開催年月日	議 事 事 項	審 議 結 果
平成24年6月21日	○ 平成23年度貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認	承認・可決
	報告 平成23年度事業報告書	
平成24年10月23日	○ 評議員の選任	承認・可決
	報告1 公益財団法人犯罪被害救援基金採用職員給与規程の制定	
	報告2 公益財団法人犯罪被害救援基金再就職職員・常勤嘱託職員給与規程の制定	
	報告3 当基金の最近の業務遂行状況及び財産売買状況	
平成25年3月18日	報告1 平成25年度事業計画書	承認・可決
	報告2 平成25年度収支予算書	
	報告3 公益財団法人犯罪被害救援基金退職手当規程の制定	
	報告4 財産売買状況	

(2) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	審 議 結 果
平成24年6月5日	○ 定時評議員会の開催	承認・可決
	○ 平成23年度事業報告書	承認・可決
	○ 平成23年度収支決算書	承認・可決
	報告 公益財団法人犯罪被害救援基金 財産売買状況	
平成24年8月22日	○ 奨学生選考委員会委員の選出	理事全員同意 監事異議なし
平成24年10月9日	○ 定時評議員会の開催	承認・可決
	○ 公益財団法人犯罪被害救援基金採用 職員給与規程の制定	承認・可決
	○ 公益財団法人犯罪被害救援基金再就 職職員・常勤嘱託職員給与規程の制 定	承認・可決
	報告 当基金の最近の業務遂行状況及 び財産売買状況	
平成25年3月1日	○ 奨学生選考委員会委員の選出	理事全員同意 監事異議なし
平成25年3月6日	○ 臨時評議員会の開催	承認・可決
	○ 平成25年度収支予算書	承認・可決
	○ 公益財団法人犯罪被害救援基金退職 手当規程の制定	承認・可決
	報告 財産売買状況	

(3) 奨学生選考委員会

開催年月日	議事事項	結果
平成24年7月17日	奨学生の選考	選考対象者 13人 結果 全員を奨学生候補者として選考
平成24年12月20日	奨学生の選考	選考対象者 7人 結果 全員を奨学生候補者として選考
平成25年3月19日	奨学生の選考	選考対象者 16人 結果 12人を奨学生候補者として選考

(4) 支援金支給審査委員会

開催年月日	議事事項	結果
平成25年2月25日	資格及び支給金額の審査	1人に支給

3 寄付に関する事項

年 月	件 数	金 額	備 考		
平成 24 年	4	88	705,783	○ ふれあいの箱を通じたの寄付 571件 5,821,511円 全体に占める割合 10.14% 前年度対比 43件増 211,666円減 ○ 法人・団体からの寄付 53件 47,485,533円 全体に占める割合 82.69% 前年度対比 9件増 1,338,839円増 ○ 個人からの寄付 292件 4,117,561円 全体に占める割合 7.17% 前年度対比 16件減 1,716,638円減 ○ 全体の前年度対比 件数 36件増 4.09%増 金額 589,465円減 1.02%減	
	5	53	579,074		
	6	43	2,839,658		
	7	41	610,486		
	8	45	44,414,556		
	9	45	656,243		
	10	58	807,823		
	11	59	1,021,233		
	12	109	2,101,149		
	平成 25 年	1	127		1,188,164
		2	76		745,923
		3	172		1,754,513
合 計	916	57,424,605			

4 監督官庁等への書類提出等

年 月 日	事 項	備 考
平成24年6月28日	平成23年度事業報告書等の提出	内閣府宛
平成24年11月13日	変更の届出(評議員の変更)	内閣府宛
平成25年3月22日	平成25年度事業計画・収支予算書の提出	内閣府宛

平成24年4月12日	都民税免除申請書の提出	都税事務所宛
平成24年6月28日	平成23年度事業報告書等の提出	都税事務所宛
平成24年6月28日	平成23年度正味財産増減計算書の提出	麴町税務署宛